

新田祐大選手オリンピック出場壮行会 白河の良さを世界にアピール

ロンドンオリンピック自転車男子トラック競技の日本代表に決定した、白河高校卒業生の新田祐大選手の壮行会が5月28日、市役所で行われました。

新田選手は「白河には山や川があり、自転車を練習する環境としては最高です。この環境と白河の皆さんの温かさがあったからこそ、オリンピックを目指すことができました。金メダルを取って、白河の良さを世界にアピールできるように頑張ります」と力強く話していました。



▲恩師の班自秀雄さん、鈴木市長と握手する新田選手（中央）

沿道緑化フラワーロード事業 沿道に色鮮やかな花が咲く

6月3日から10日にかけて、白河地域5地区で、「沿道緑化フラワーロード事業」の花苗植え付け作業が行われました。作業を行ったのは、昭和町町内会(伊藤満会長)、小田ノ里第一・第二白寿会(鈴木邦彦会長)、住みよい五箇をつくる会(深谷稔代表)、小丸山寿栄会(神林良男代表)、久田野長寿会(菊地隆治代表)が、各主要道路の沿道にマリーゴールドなど4種類の苗15,600本を植栽しました。なお、この事業は各地域でも実施しています。



▲昭和町町内会による植え付け作業の様子

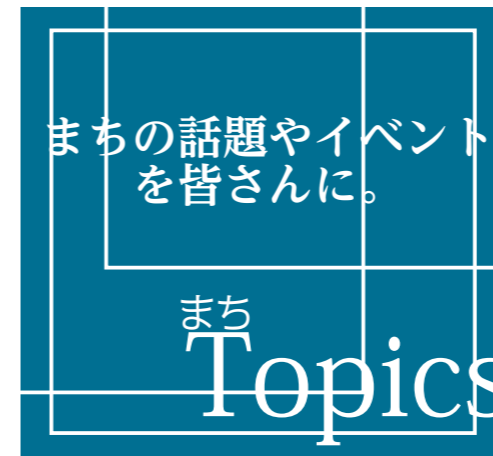
白河の歴史 再発見！ 生まれたまち・白河の史跡に触れる

市では、市内の小学6年生を対象に、小峰城を中心とした市内の史跡について学ぶ「白河の歴史 再発見！」事業を行っています。

児童たちは、文化財課の職員から、小峰城が築城されたときの話や、東日本大震災で崩落した石垣やその修復の経過などの説明を受け、真剣にメモを取っていました。この事業は、市内すべての小学校で11月までに実施され、学習の成果は「壁新聞」にまとめ、市立図書館に掲示する予定です。



▲崩落した石垣の説明を受ける表郷小の児童たち（6月5日）



「工業の森・新白河」B工区 用地造成工事の安全祈願祭、起工式 復興への大きな弾みに

6月7日、本市への進出が決定している三菱ガス化学(株)（東京都、酒井和夫社長）の「工業の森・新白河」B工区における用地造成工事の安全祈願祭、起工式が同工区（豊地）で行われました。

鈴木市長は「白河から全国へ復興の光を発信できる象徴になる」と述べ、佐藤雄平県知事は「今年が復興元年、本県の復興へ向けて大きな弾みにしたい」と話しました。多くの雇用が見込める同社の操業に向けた歩みは、本市のみならず福島県の復興への追い風になると期待されます。

B工区の開発面積は約69.5ha、このうち約31.8haを同社に分譲します。平成26年1月に完成、同年3月に引き渡す予定です。



▲左から酒井社長、小高会長、鈴木市長、佐藤知事



▲B工区完成予想図

都市計画道路「道場小路金勝寺線」開通式 待望の開通、本市の発展に期待

6月9日、都市計画道路「道場小路金勝寺線」の開通式が行われました。

本路線は、中心市街地と国道4号を結ぶ片側一車線の幹線道路で、白河中央スマートICや県南地域の基幹病院である白河厚生総合病院などへのアクセスが容易になります。

式では、鈴木市長が「本道路が多くの方々に利用され、本市の発展につながることを期待したい」と述べ、出席した皆さんとともに開通を祝いました。



▲開通を祝いテープカット